

細江カトリック教会だより

合併号

〒750-0016 下関市細江町1-9-15

☎083-222-2294

☎083-222-0970

ホームページ <http://hosoechurch.sakura.ne.jp>

託されたもの

教会の暦は、世間より一足早く新しい年度に入り、待降節、そして、降誕節を迎える時期になりました。例年ですと、クリスマスを迎える心を深めることが中心になりますが、今年2019年は、いろいろな意味で特別な年だったことを振り返ってみたいと思います。

春は平成から令和への移行を経験し、夏から秋にかけては、度重なる台風襲来の中で、ラグビーW杯が日本で開催され、東京五輪の前年で、いよいよ準備が本格的に進められた年でした。教会では、4月に助任司祭としてディン神父を迎え、お蔭で、ベトナム人の若者たちが波のように、静かな細江を襲う年でもありました。しかし、何にもまして、わたしたちにとって一番大きな出来事は、フランシスコ教皇の来日です。

確実な情報の伝達が遅れたこともあって、当初、日本の教会がどれだけ盛り上がるのか、はたして教皇様をお迎えするにふさわしい状況をうみだせるのか、一抹の不安があったことも否めません。しかし、ふたを開けてみると、38年前とは比べ物にならないほど発達したマスメディアの影響もあって、教会だけでなく、日本中が教皇フィーバ

ーに乗せられたような4日間でした。長崎・広島・東京、そして、それぞれの場で、人々の心を動かす力強いメッセージが語られ、出会われた人一人一人と、あたたかい言葉を交わされたこと、忘れることができません。来日のテーマとなった「すべてのいのちを守る」をもとに作られたテーマソング “We protect all life” は今も耳に響いています。

教皇様は、厳しいスケジュールをすべてこなし、各地で示されたあたたかい歓迎に感謝しながら、ローマへ戻られました。あまりに多くのものを残して行かれ、まとめるには、多くの時間がかかることと思いますが、滞在中の感動や興奮が去った今、あらためて教皇様の来日の意義を考え味わいたいと思います。教皇様は、短い日本滞在中に一人一人の心に小さな火を灯してくださいました。多くの方は、それに気づかず、時間と共に忘れてしまうかもしれません。しかし、わた

したち信仰者は、今こそ、教皇様が心の中に灯してくださいました火を大切に守るだけでなく、時間をかけて燃え上がらせるようにしなければなりません。

託された課題は広範に及ぶものでしょう。しかし、何をやるにしても、ただ、人間の知恵と力によって実現しようとするのではなく、自らは小さくなくても、神が働く場として、自分を譲り渡す、それは、取りも直さず、祈る人間、祈る共



同体になるということ、それによってはじめて実現できることでしょう。

エマオへ向かう弟子たちが、復活のイエスに出会って心を熱くされ、時を移さず、他の弟子たちに伝えに行ったように、いただいた火をパンと、み言葉の解きあかしによって、一層強く確かなものとして、日々歩んでゆくことができますように。

作道 宗三 神父

*写真は東京ドーム 11/25
(宇部教会信徒提供)

地区だより VII

安岡地区

安岡地区は、安岡・綾羅木・川中・川中豊町の集まりです。

現在、地区会は6名の参加者があります。「主の平和」を守り仲良く過ごしています。

私が一年前に受洗する前から安岡地区の皆さんが、キリスト者らしく親切にしてくださり、新しく教会に加わる人(私)にも接して下さったので、細江教会で祈る事ができました。

親しくなると距離感を忘れがちですが、相手を神の似姿との教えを忘れず、言葉や態度に気を付けていきたいと思えます。

今までどおり、久しぶりの方にも壁を作らず気楽に地区会に参加できるように考えていきたいと思えます。

フランシスカ 稲田 鏡子



イエズス会 レンゾ管区長さまと

3教会の昼食会10/2

レンゾ管区長とベルゴリオ(現フランシスコ教皇)のパワーポイントで教皇の人となりを紹介されました。レンゾ神父さまは、教皇とは特別な親交があるという嬉しそうな表情で紹介されました。それもそのはず、師弟の仲ただけでなく、アルゼンチン出身のイエズス会士なので、「ベルゴリオ」と親しく言える同志なのでしょう。今回の教皇来日では側近として、通訳もなさることでしょう。

「ベルゴリオは、予め渡されたメッセージの文章を無視して、その場で驚かせるようなユーモアで人を魅了させるので、通訳は大変です」と話されながら喜ばれている様子でした。ご活躍の姿が拝見できればと、楽しみにしています。

菊野 清一



マレーシアのアルビン神父さま

10/16 下関へ来訪

アルビン神父さまはマレーシアの神学校の聖書の先生。日本語がとても上手なのは、学生のころ日本語の勉強をしておられて、司祭になる前にマレーシア空港で日本人案内所で働かれた経験があるからでした。

50歳でも若々しいのは、子どもたち学生と交わることも関係していますが、毎日ランニングをして鍛えているからでしょう。

下関の思い出にと、土井ヶ浜遺跡・人類ミュージアムにお連れしましたが、興味深くごらんになっていました。

有名な角島大橋を渡り、灯台は高所恐怖症？ということで登りませんでした。

それから俵山の聖母マリア像で黙想し、西市の「蛍の湯」で温泉を満喫。下関の体験はどうだったでしょうか？ 良い思い出になったでしょうか。

十分なおもてなしができませんでしたし、いろいろなお話を伺いたかったです。

またの機会のお楽しみということにして……。今後のご活躍をお祈りしています。



* 食事中のアルビン神父さま。

俵山聖母マリア ミサ 11/4



アレックス神父さまからお声をかけられて久しぶりのミサに参加。肥塚神父様はじめ3名の司祭と信徒たち40数名でしたが、祈りの中で樹々の間から陽光を浴びて・・・心温かなひと時を過ごせました。

端正に整えられた「俵山聖母マリア像」の場所は、この地を訪れる方々のために、北部地区の江原さんが地道に樹木の選定や整備、掃除をされています。黙々と準備し、またにこやかな表情で私たちを出迎えてくれました。感謝すると共に私たちが置かれた場所で、できることをしなければと改めて強く感じた日でした。

七五三の祝福 11/17

二家族だけの子どもたちの参加で少し寂しい祝福でしたが、みんなで未来ある子どもたちを見守りたいですね。



* 写真をうまく撮ることができなくて。

お知らせ

- * 12月 8日(日) 9:00
待降節黙想会
- * 12月21日(日) 19:00
ベトナムミサとクリスマス会
- * 12月24日(火) 19:00
主の降誕(夜半)
- * 12月25日(水) 11:00
主の降誕(日中)
- * 12月31日(火) 23:30
深夜ミサ

2020年

- * 1月 1日(水) 11:00
神の母聖マリア 新年ミサ
- 1月 2日のミサはありません。

広島平和記念公園での記帳メッセージ

わたしは平和の巡礼者として、この地の歴史の中にあるあの悲惨な日に、傷と死を被ったすべての人と連帯をもって悼むために参りました。いのちの神が、(わたしたちの)心を、平和と、和解と、兄弟愛へと変えてくださるよう祈ります。

フランシスコ

11月24日 広島

教皇フランシスコ ようこそ！
長崎ミサ 11/24



(長崎県営野球場ビックスタジアム)



フランシスコ教皇様のミサに参加して

11月24日(日)フランシスコ教皇様の長崎でのミサに与る為に、細江教会の信徒の皆さんと朝6時20分に集合し大型バスで出発しました。途中から雨や雷が鳴り始め長崎に着いた時には、皆合羽姿で会場となる県営球場に移動しました。ところがスタンドに着席する頃には雨も止んでミサが始まる14時には青空が広がってきました。

「今、教皇様がスタジアムに到着なさいました」のアナウンスに3万人の会衆が喜びの声をあげ、バチカン、アル

ゼンチン、日本の小旗を各々が振りながら教皇様を歓迎しました。白いオープンカーの壇上でフィールド内をぐるりと回ってくださって、スクリーンに大きく映し出された教皇様の笑顔がとても優しく、赤ちゃんを教皇様の前に高く差し出し、頭を撫でてもらうシーンに、場内が歓声に包まれました。

いよいよミサの始まりです。特設の白い祭壇、聖歌隊とオルガンの美しい音に場内は静まり、野外ミサが厳かに行われました。キリスト教迫害の歴史と更にまた被爆地である長崎で、遠くからも信徒たちが集まり教皇様のミサに与ることができているこの現実、感謝と喜びで心が震え涙が出ました。教皇様来日オフィシャルグッズを購入し、迎えのバスを待つこと2時間。ちょっぴり疲れた体と満たされた心で帰途に着きました。ベトナムの若者と同じバスだったのも良い思い出です。

福永 典子

Pope Francis!

『あなたに話がある』・・・と

わたしたちに呼びかけて、日本に来てくださったパパさま！

ありがとうございました！！

11月23日～26日 短い滞在期間の中を、東京→長崎→広島→東京と、私たちに逢いに来てくださった教皇さま。私たち信者だけでなく、一般の方々もその優しい眼差しとお言葉に温かさを感じて、心に深く刻まれたことでしょう。

そして、わたしたちに向けられた「お話」を自分自身に問いかけて、何をなすべきか？自然のこと、非核のこと、平和のこと・・・しっかり心の芯に受け止めなければと思っています。

感激、感動、感謝！！

近藤